

THE NEXT

みなさまと、ともに。

マテリアル & プロダクト展 2022

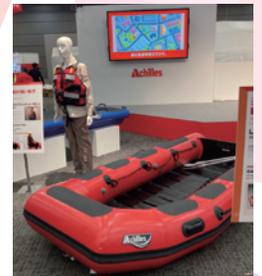
■日時：2022年5月18日(水) 10:00～17:00
5月19日(木) 10:00～16:00

■会場：ベルサール新宿グランド

「FUN+TEC! 技術を楽しみ、驚きを生む。」

をテーマに、さまざまな展示やデモンストレーション、プレゼンテーションを通じて、アキレス様の現在と未来、製品や技術への取り組みを見学してきました。

森松一同 アキレス THE NEXTに
行ってきました!!



FUN+TEC!

目標と過程

森 直樹 (代表取締役社長)

先日こちらで告知しました、100マイル(165km)レース、UTMF(ウルトラトレイル・マウントフジ)ですが41時間00分37秒にて完走しました。ここまでの時間と距離を進むという経験は初めてで(過去最長は100km)、常に残りタイムと距離を意識しつつ、水分や補給食を十分に摂るといった基本的な事を積み重ねることが出来たお陰です。胃腸トラブルが起こると食べることで体が難しくなり、すなわちレースを継続する事が困難になります。本格的にトレイルランニングを初めた7年前は、まさかここまでの結果が出るとは想像だにしていませんでした。ただ、経験を積み重ねていく中でこのようなレースに出たい、完走したいという想いが現れ、そこに向けたトレーニングを重ねていくようになりました。ランニングをしている人で、ただただ漫然と走っている人は少ないと思います。健康維持のため、ダイエットのため、フルマラソンを完走したい、マラソンのタイムを更新したい。走るということの先に様々な目標があり、それに向かっていくために走る方が大多数ではないでしょうか。ごく当たり前のことではありますが、「～したい」、「こうなりたい」という目標を持つところから全てが始まります。そしてその目標に至る道はいくつも選択肢があり、どのルートで到達するかはその人次第です。当然目標とする難易度が高いものであればあるほど、そこに至る道は険しいものとなります。その険しい、苦しい過程を楽しめるか、あるいは途中で挫折せずに進み続けられるかどうかは、どれだけその目標へ到達したいという想いが強いかどうか。目標への想いが自分自身を動かします。今自分が取り組んでいることは、どれだけその想いを持っているのか。行動から振り返ってみるとその強さが測れるでしょう。



西国三十三所巡礼⑦

村田 恒夫 (経理部)



今回『西国三十三ヶ所巡礼⑦』は、阪急交通公社の西国三十三所巡礼の旅日帰りバスツアーへ参加することにしました。当日、名古屋駅西口7時30分集合 バスは満席(40名)で京都へ、途中のサービスエリアでは西国三十三所公認先達と合流し、納経用品販売所へ寄り、番外札所の元慶寺、第十五番札所の今熊野観音寺、第十六番札所の清水寺、第十七番札所の六波羅蜜寺への巡礼に行きました。清水寺では、昼食時間も含め自由時間が長めにあつたので、ゆっくりと境内を見ることが出来ました。本堂南縁の断崖に張り出した床が有名な「清水の舞台」(釘を使わず78本の柱と縦横に通った貫とで建てられた懸け造りの桧板張りの床)から望む新緑の景色は最高でした。本堂を抜けた先には「音羽の滝」(3筋の滝)があります。それぞれの懸樋から流れ落ちる湧水は「学業」、「恋愛」、「健康」のご利益があるとされ、飲水するとその願望が叶うと云われる。この高さ約4メートルから流れ落ちる滝は、古来、「黄金水」「延命水」とも呼ばれ、まさに「清めの水」として信仰が寄せられてきました。「清水寺」の「清水」とはまさにこの「湧き水」に由来したものでありパワースポットとして人気があります。境内見学後は、お腹が空いたのでグルメスポットがいっぱいの清水寺参道にて食事処(昼食)を探しましたが、名物ゆどうふ 清水順正おかべ家で昼食することにしました。天ぷら・ゆどうふ・とうふ 田楽を含むコースメニューを注文しましたが、鍋には食べきれないほどの湯豆腐が入っていてお腹いっぱいになり満足。食後にスイーツでもと思いましたが、食べ過ぎでお腹の空き容量はなく残念!! お腹を凹ませるために、バスの集合時間まで歩きました。清水寺は、小学校の修学旅行以来の観光(巡礼)ですが、懐かしく感じました。いつも巡礼で感じるのは、ロウソクを立て、線香をあげ、手を合わせることで気持ちが穏やかになれるような気がします。西国三十三所巡礼「満願」年内達成を目指しています。

久しぶりのナガシマスパーランド

伊東 義弥 (特販部)



先日約6年ぶりにナガシマスパーランドへ行ってきました。GW期間中に行こうかとも話をしておりましたが、今回のGWはコロナ始まって以来3年ぶりの何の規制もない長期休暇となったため、ものすごい人が来るのではないかと予想し1週ずらして行きました。コロナ前ほどの人混みではないにしてもかなりの人の多さに驚きつつ中へ。まず一番に驚いたのはフリーパスの値段でした。6年前は子供優先ということでフリーパスは使いませんでしたのでフリーパスで入るのは10年以上前です。当時は@4000円ちょっとだったのが今は@5,500円!調べて行っていないため結構びっくりでした(笑) 気を取り直して中へ入ると、当時はなかった「嵐」や「アクロバット」など、絶叫系アトラクションが増えていてここでも驚きです。早速乗ってみました。ぐるぐる回転しながらのジェットコースターで見事一発目で三半規管をやられすでにフラフラです。その後も新しいものやスチールドラゴンなど昔からある絶叫系を一通り制覇することに成功。白鯨は待ち時間60分、スチールドラゴンは90分待ちと相変わらず人気アトラクションに人が集まるのはどの遊園地も変わらないなという印象でしたが、それでも当時の120分待ち、180分待ちを考えればまだ気軽に並べるなと思いました。また、並ぶのが面倒くさい、時間ももったいないという方向け?に、乗車優先券を買うこともできます。1つのアトラクションごとに@1,000円を払うと優先して入れてくれるみたいです。私も今年で29歳になりますが、童心に帰り夢中で遊ぶことができました(笑)当初4、5歳だった長男が今年で10歳になるので乗ることができるアトラクションもたくさん増えたと思います。次回は、アクロバットやスチールドラゴンなど、絶叫系アトラクションを親子で楽しみたいなと思った良いお出かけとなりました。

車を換える

橋野 徳明 (製造部)



遂に 16 年間乗ってきた車 (カプチーノ) を手放し、昨年 12 月に中古ですがマツダアテンザセダン 2.5 (平成 28 年式) に乗り換えました。ホントは 2 ドアの車が欲しかったのですが、いいなと思う車は昭和から平成の初めぐらいの車ばかりで、お世話になっている車屋さんに部品の無い車はダメと反対され、そんなに見かけないアテンザのセダンに決めました。ところがなかなか条件 (色、ガンメタ・走行距離 45,000 km 以下・ガソリン車) に合った車が出てこず全国で探してもらって約 1 年掛かりました。ようやく来た車を取りに行き、その帰りに後輩のショップへ行き、TV キャンセラー、i stop キャンセラー、車高調、キャリアカバーを付けて自分の気に入るようにカスタマイズしました。車高調 (BLITZ) は約 70mm ダウンしてタイヤハウスぎりぎりになりました。キャリアカバーは受注生産の為、3 ヶ月待ちでようやく付きました。あとはタイヤとホイールを換えれば終了です。ホイールの純正サイズは 19 インチなのですが、19 インチか 18 インチで迷っています。フェンダーツライチにしようと思うと 19 インチのツライチは現状フェンダーに当たってしまうので、ならばタイヤの扁平を薄くして、あえて 18 インチにしようかとも考えています。自分が気に入ったホイール (RAYS、ADVAN、WORK) は INSET (オフセット) の関係上合わないのホイールには時間が掛かりそうです。不運なことに 4/11 に会社でいつものように駐車していたら、トラックにぶつけられ悲惨な事になりました。直って来るのに 3~4 か月だそうです。自分でぶつけた訳ではないのに買って 4 か月で事故車になってしまいました。ショックで溜まりません。



了です。ホイールの純正サイズは 19 インチなのですが、19 インチか 18 インチで迷っています。フェンダーツライチにしようと思うと 19 インチのツライチは現状フェンダーに当たってしまうので、ならばタイヤの扁平を薄くして、あえて 18 インチにしようかとも考えています。自分が気に入ったホイール (RAYS、ADVAN、WORK) は INSET (オフセット) の関係上合わないのホイールには時間が掛かりそうです。不運なことに 4/11 に会社でいつものように駐車していたら、トラックにぶつけられ悲惨な事になりました。直って来るのに 3~4 か月だそうです。自分でぶつけた訳ではないのに買って 4 か月で事故車になってしまいました。ショックで溜まりません。

御在所ロープウェイ

山口 治剛 (製造部)



今年の 2 月終わりに暖かったので散策出来ると思い、軽い気持ちで御在所ロープウェイ乗り場まで行きましたが、乗り場に着了たらスキー板を持った人やソリを持った子供たちがたくさんいて、薄着でスニーカーの私たちはその時点で上るのは無謀と感じて諦めて帰りました。今回再チャレンジで御在所山頂まで行ってきました。ゴールデンウィークも終わりととてもいい季節になりましたが山頂は気温 10℃ と肌寒く、山をなめてはいけなと痛感しました。山は新緑も美しくリンドウやシロヤシオの白い花がとても綺麗に咲いていました。登山客がとても多く自分も登山に挑戦したいと思いました。ロープウェイではなく自分の足で山頂まで登ってみたいと思いますが、現時点ではまだまだトレーニング不足です。まずは初級者コースから始めて、後は湯の山の温泉につかり疲れた体を癒すのも悪くない計画だなと考えています。



～展示商品紹介～

魅力的な商材が多数展示されておりましたが、特に気になったものを一部ですが紹介します。

バイオプラ容器・包装資材



モバイル充電&決済機能付きデスクマット



衝撃吸収保護マット



抗ウイルス性 PVCレザー



愛犬のジミー

三浦 正之(東京オフィス)



昨年の8月からトイプードルのジミーを家族として迎え入れました。妻が保護犬の里親募集のサイトを見ていたところジミーに一目惚れし、私に相談も無しに申請を行っておりました。子犬だったこともありたくさんの応募が入り、倍率が高かったのですがスピーディに申請を行った結果、申請から1日前後で迎え入れる事になりました。いつかは飼うつもりでいましたが、あっという間の出来事に命の責任に対する覚悟に不安を感じつつも迎え入れの日を迎えました。蓋を開けてみれば、最初は戸惑っていた私や子供たちも、



あっという間にジミー無しの生活が考えられないくらいの状態です。ジミーにとって1番「妻」、2番「ジミー」、3番「私と子供たち」の序列となっており、その評価には多少不満がありますが、我が家に来てくれたことには感謝しております。環境省の資料によると、犬の引き取り数(保護や野良犬など)は平成16年度では約18万頭だったのが、令和2年では約2万7千頭までに減っており、殺処分などで失われる命も大きく減っています。ですが、減っているとはいえまだ失われる命があります。新しい子を迎え入れるのはすぐには難しいですが、ジミーを可愛がりながら保護団体へ微力ながらの支援を行い、小さな命を守りたいなと思いました。